



## 子どもの虹情報研修センター「児童虐待防止推進月間」

### 公開講座

# イギリスから学ぶ児童虐待対応

英国では、2000年に起きたビクトリア・クリンビエ事件を契機に、児童虐待対応のシステムが大きく転換しました。そこには、地域における多分野横断協働と政府による評価システムの厳密化など、日本の児童虐待対応を考えたときに大いに参考になる重要なポイントが含まれています。本年度4月に、子どもの虹情報研修センターでは英国の児童虐待対応の現状を把握するための視察を行いました。その際、英国児童虐待防止学会（BaSPCAN: British Association for the Study and Prevention of Child Abuse and Neglect）の現会長であるジョナサン・ピッケン氏（Jonathan Picken）とお会いし、示唆に富む貴重なお話をうかがうことができました。

そこで、今回ジョナサン・ピッケン氏を日本にお招きし、英国における児童虐待対応の現状や課題について改めてお話いただき、参加者と内容を共有したいとこの企画を考えました。氏の講演に加え、英国への視察メンバーとのパネルディスカッションも行い、さらに踏み込んだ理解をし、今後の日本の児童虐待対応のあり方に有効な視点を見出すことができたらと願っております。

日時： 11月9日（金）9：30～16：00

会場： 子どもの虹情報研修センター 大研修室

主催： 子どもの虹情報研修センター

後援： 横浜市こども青少年局

参加費： 無料

※ 昼食については、各自ご用意下さい。なお近くに飲食店、コンビニ等はありません。

### 講師

**Jonathan Picken (Chair of BaSPCAN, Director of LSCB(Worcestershire), SW)**

英国児童虐待防止学会の現会長。児童虐待対応において、英国では優れた評価を得ているウィスターシャー地区の地域児童保護委員会（LSCB: Local Safeguarding Children Board）のディレクターを務める。ソーシャルワーカー。

### プログラム

9:30	【公開講演】 英国から学ぶ 児童虐待対応	講師 Jonathan Picken (英国児童虐待防止学 会会長)	2000年に生じたビクトリア・クリンビエ児童虐待死事件以降の英国における児童虐待対応の改革と現在の状況について、特に地域における多分野横断協働のあり方を中心に理解を深める
12:00			
13:00	【パネルディス カッション】	パネラー Jonathan Picken 山下 洋 (九州大学 精神科) 青木紀久代 (お茶の水女子大学大学院准教授) 川崎二三彦 (子どもの虹情報研修センター)	Jonathan氏を交え、 本年度4月に英国視察を行 ったメンバーと英国と日本 における児童虐待対応の課 題について話し合う
16:00		進行 増沢 高 (子どもの虹情報研修センター)	

### 申し込み

裏面の申込用紙にご記入の上 FAXにてお申し込み下さい。

FAX 番号：045-871-8091

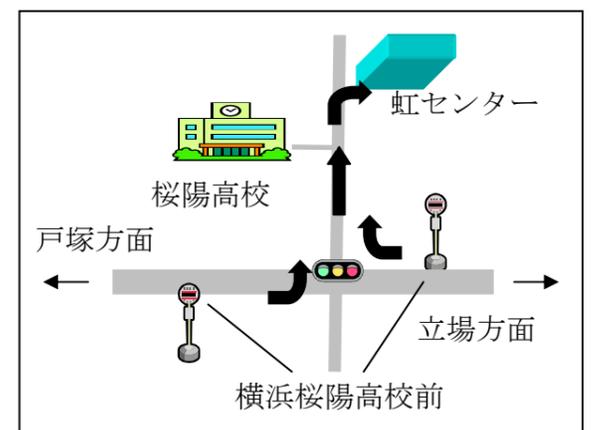
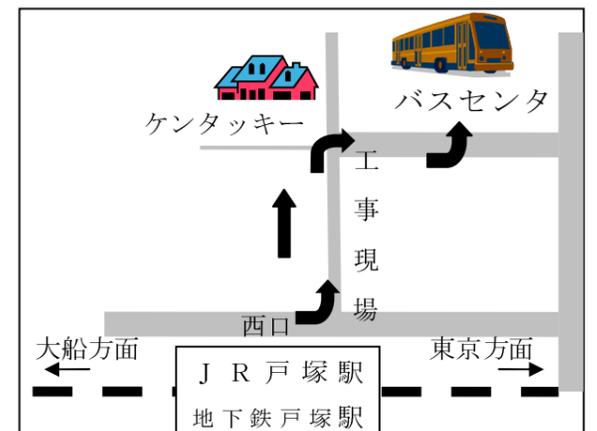
### アクセス

JR戸塚駅西口バスセンター（西口より徒歩5分）  
2番乗り場「汲沢・立場ターミナル」行  
桜陽高校前下車 徒歩3分（右図参照）

※ 駐車場のスペースがございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

### 問い合わせ先

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町 983  
子どもの虹情報研修センター 研修部  
TEL：045-871-8011



## FAX送信状

子どもの虹情報研修センター 総務課宛て  
FAX-NO 045-871-8091

### 参加申込書

○11月9日(金)開催

○子どもの虹情報研修センター「児童虐待防止推進月間」公開講座

### 『イギリスに学ぶ児童虐待対応』

氏名

---

---

---

---

---

住所

〒

---

電話番号

( )

—

---

所属等

---

※関係者にご周知いただき、ご参加につきご配慮いただきますようお願いいたします。  
なお、複数名の方がご希望の場合は連名でご記入下さい。